

仙台市博物館協議会(令和2年度第2回)会議録

1. 会議の年月日 令和3年2月9日(火)

2. 開会及び閉会の時刻 午後3時から午後4時45分まで

3. 出席委員の氏名(五十音順・敬称略)

跡部薫、尾崎彰宏、菊池勇夫、佐川正敏、佐治ゆかり、佐藤憲子、伊達泰宗、長岡龍作、森美智子
※高橋綾子委員は欠席。一部の委員はオンラインでの出席。

4. 説明者の職及び氏名

館長＝高橋泰、副館長＝高橋あけみ、庶務係長＝高橋薫、学芸企画室長＝酒井昌一郎、
学芸普及室長＝樋口智之、指導主事＝飯淵泉、学芸普及室主事＝菅原美咲、
学芸企画室主任・記録＝佐々木徹

5. 議題及び報告並びに議事の要旨

(1) 会議録署名委員の選任

会長と跡部委員とする。

(2) 報告事項

① 当館における新型コロナウイルス感染症対策及び防煙垂れ壁落下にかかる休館について(庶務係長報告)
「資料1」のとおり。

[委員からの意見等]

垂れ壁落下の原因は何か。現時点では業者等からの回答がないということか。

[事務局からの回答]

現在、他の部局からの回答を待っている状況である。原因究明の途上ではあったが、なるべく開館を急ぐ観点から、材料を検討して開館にこぎつけた。

[委員からの意見等]

人命や設備の安全性の観点から、今後も注意するようにしてほしい。

② 令和2年7月～令和3年1月の観覧者数について(庶務係長報告)

「資料2」のとおり。

③ 特集展示「支倉常長帰国400年」「仙台藩の絵画」「福島美術館の優品」について(学芸企画室長報告)

「資料3」のとおり。

[委員からの意見等]

いつもは資料に記載されている観覧者の声が、今回は記載されていない。アンケートはとらなかったのか。

[事務局からの回答]

支倉展は新型コロナウイルス感染症対策のためアンケートを設置できなかった。ほか2回の特集展示では設置したが、アンケートへの回答数が少なかった。

④ 常設展「特集震災10年―災害を生きた人々」について(学芸普及室長報告)

「資料4」のとおり。

〔委員長からの意見〕

国際センターで来月行われる仙台防災未来フォーラムにも出展するようだが、どのように行われるのか。また、英語などの冊子類も置くのか。

〔事務局からの回答〕

去年と同じように、ブース2つ分でのパネル展を予定している。パネル展には当館職員が立つので、フォーラム来場者の当館への来館を促し、震災関連展示も見してほしいと考えている。英語などの冊子類は、特に用意はない。

⑤大規模改修について(学芸企画室主任報告)

「資料 5」のとおり。

〔委員からの意見等〕

大規模改修による休館中、他館での出張展示を行うとあるが、どんな内容を考えているかお聞きしたい。

〔事務局からの回答〕

当館の名品を他館で見せられないか、現在計画中である。

〔委員からの意見等〕

改修項目に LED 化を行うとあるが、展示ケースとか、展示室とか、すべてで行われるのか。

〔事務局より回答〕

基本的には館内のすべての部屋が LED 化される予定だが、今回改修対象となっていない展示室のケース内は、予算措置の面から LED 化されない予定である。

〔委員からの意見等〕

LED 化はリース等でも行うことができ、初期費用もあまりかからない。検討してほしい。

〔委員からの意見等〕

予算枠が決まってしまうということか。

〔事務局の回答〕

その通りである。

〔委員からの意見等〕

再開館後の展覧会等については、何か考えは持っているか。

〔事務局の回答〕

構想段階であり、不確定要素はあるものの、仏教系の大きな展覧会は視野に入れている。

⑥教育普及事業について(指導主事報告)

「資料 6」のとおり。

⑦市史活用推進事業及び資料レスキューについて(学芸普及室長報告)

「資料 7」のとおり。

⑧令和3年度の展覧会について(学芸企画室長報告)

「資料 8」のとおり。

〔委員からの意見等〕

⑥～⑧に関わる講演会等のイベントについて、現行では主に博物館ホールで人数限定による対面式が想定されており、YouTube 式・ZOOM 式などは、他機関のイベントに乗っかっている方式が目立つ。館としても、アプリ等を使ったオンタイムのやり方は何か考えているか。

〔事務局の回答〕

YouTube 動画の制作はその1つの取り組みだが、もっと考えないといけないとは思っている。対面とオンラインとの両面を見据えて考えていこうと思っている。特に大規模改修中の休館期間は重要と考えている。

[委員からの意見等]

世間ではいくらでもやっており、50名以上にも対応できるようになる。何か市として規制している訳でないなら、是非考えてほしい。

[委員からの意見等]

エジプト展については、現在、静岡で開催されているが、反響や意見等は聞いているか。

[事務局の回答]

静岡では、新型コロナウイルスの大きな影響はないと聞いている。しかし、緊急事態宣言以後の様子は聞いていないので、今後情報を取りたい。

[委員からの意見等]

過去の経験からすると、すごい人出になる可能性がある。何か対策はあるか。

[事務局の回答]

ワクチン接種次第かと考えている。お客様への安心・安全には配慮したい。

⑨レストラン運営会社の変更について(庶務係長報告)

口頭説明。

防災垂れ壁落下の休館により(株)金魂が撤退。(株)東北福祉ビジネスへと変更になった。

(3)協議事項

① 企画展 仙台市博物館開館60周年記念祭「たっぷり わくわく 名品尽し」について(学芸普及室主事報告)

「資料9」のとおり。

[委員からの意見等]

展示構成などに見える「ひたる」など、平仮名書きだと、漢字本来の意味合いが失われ、武器・武具など視覚的な作品について軽んじているような印象も受ける。わかりやすくするというのであれば、解説をわかりやすくすれば良いのであって、平仮名にする意味はあるのだろうか。

[事務局の回答]

いまだ検討中であり、決定ではないが、小学校低学年などすぐ漢字になじめない年齢層でもなじみやすくなるように平仮名にしている。

[委員からの意見等]

印刷物は、すでにデザインなどが進められているのか。

[事務局の回答]

現在、検討しながら校正を進めている最中である。

[委員からの意見等]

もっとワクワク感というか、引っ掛かりや謎めいた仕掛けがあってもよいのではないか。想定できてしまうと、行ってみようとならないように思う。

[事務局の回答]

まだイメージが外へと伝わっていない段階かもしれない。展示を見ながら一定のテーマでツアーができるコース設定を提示するなど考えているが、今後もっと検討していきたい。

[委員からの意見等]

リストを見ると、総花的で散漫にならないか心配である。支倉関係資料は、夏の特集展示でも多く展示されていたが、今回はどう展開させるつもりなのか。

〔事務局の回答〕

「支倉の旅」という部分を強調していきたい。作品を通して支倉の旅路を体感し、そうした雰囲気を感じられる展示にしたいと考えている。展示作品は一緒でも、切口を変えて紹介していきたい。

〔委員からの意見等〕

このコロナ禍で観覧者は仙台の方々为主になるように思うが、こうした名品を市民の人たちにどう発信するかが重要と思うがどうか。

〔事務局の回答〕

寄贈者など市民の方々に向けて、次の60年に向けて守り伝えていける種をまきたいと考えている。

〔委員からの意見等〕

地元の方々、仙台市博物館の名品はよく知っている。伊達とか仙台藩とかをタイトルに入れなかったのは何か理由があるのか。

〔事務局の回答〕

原始・古代から近代までを扱うので、あえて入れずに当館の名品を紹介するつもりであった。

〔委員からの意見等〕

常設展にある資料も入れるとそうなるかもしれないが、この企画展だけで考えれば、ほとんどが伊達氏か仙台藩の資料と思われる。感想ではあるが、あえてポイントとして入れてもいいような気もする。

〔事務局の回答〕

ご意見ありがとうございます。

②その他

なし

(4)その他

①令和3年度の博物館協議会開催日程について

「資料10」のとおり。

〔事務局からの説明〕

次回、令和3年度第1回協議会は令和3年5月25日(火)15時からの開催を予定している。なお、来年度の3回目(2月8日)は大規模改修の最中であるため、館内ではできない可能性があり、日程変更が必要な場合もあり得る。随時、連絡を取り合いたい。

②その他

なし